

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月16日(月)

事務事業		児童相談・虐待防止事業		担当課	こども青少年課	担当係	児童相談係	管理番号	30321	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市家庭児童相談員設置規則、児童福祉法、					
	小項目	1	子育て支援の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、児童の養育についての不安や悩みの軽減および虐待の防止、早期発見、適切な対応に資するために、①家庭児童相談室、子ども家庭総合支援拠点での相談、②要保護児童対策地域協議会（要対協）、③乳児家庭全戸訪問事業、④養育支援訪問事業等を実施し、子育て支援の推進を図る。								
目的 ※何のために		相談事業や訪問事業を通して、保護者の子育てに関する不安や悩みの軽減、子育ての孤立化の防止を図ること、また虐待（疑いを含む）の早期発見、適切な対応を実施し、児童の安全に資することを目的とする。								
対象 ※誰・何を対象に		①市民（主に子育て家庭の保護者）②虐待や特に支援が必要な保護者および児童、妊婦、③4か月までの乳児がいる家庭、④特に支援が必要な保護者を対象とする。								
手段 ※どのように		①電話および来所で、相談者の相談内容に応じた助言を行う。②要対協の関係機関間で情報共有し、適切な対応を協議する。③職員が対応、④訪問員2人が訪問し保護者や子どもの状況確認、不安や悩みの傾聴、助言を行う。								
成果 ※何を求めるか		市民の相談に対して適切な助言、情報提供がなされ、保護者の育児不安や悩みが軽減し、状況の改善が図られる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（委嘱）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	1	児童福祉総務費	家庭児童相談事業	2,901,241
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	1	児童福祉総務費	児童相談事務費	2,262,232
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	1	児童福祉総務費	ふつかちゃん児童自立支援事業	100,000
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	1	児童福祉総務費	養育支援訪問事業	79,510
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	1	児童福祉総務費	4歳、5歳未就園児家庭訪問事業	19,334
本事業の 主な業務		・ こども家庭総合支援拠点・家庭児童相談室による電話や来所相談 ・ 要保護児童対策地域協議会の運営 ・ 虐待ホットライン（通告受理、対応検討） ・ 虐待対応（情報収集、訪問調査、関係機関調整等） ・ 関係機関および市民向け講演会の開催 ・ 乳児家庭全戸訪問事業の運営					・ 養育支援訪問事業の運営 ・ きずなLINE配信 ・ 4歳、5歳未就園児家庭訪問 ・ ・ ・			

2. 事業費（投入コスト）

※令和6年度は決算見込み額です。

単位：円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画	子育てアプリからLINE配信へ変更			養育支援訪問事業において子育て世帯訪問支援を実施する		
事業費	予算（現額）	7,302,000	5,848,000	5,943,000	8,520,000	
	決算額	6,200,290	5,282,736	5,362,317	0	
	財源内訳	国支出金	1,353,000	178,000	971,000	1,284,000
		県支出金	159,000	159,000	561,000	1,284,000
		地方債	0	0	0	0
		他特定財源	300,000	300,000	100,000	200,000
		一般財源	4,388,290	4,645,736	3,730,317	5,752,000
人件費	従事職員数（人）	4.00	4.00	2.75	3.95	
	人件費相当試算※	31,478,228	32,040,660	22,611,163	33,684,889	
総事業費試算		37,678,518	37,323,396	27,973,480	42,204,889	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	家庭児童相談室開設日数	目標値	日	245.00	243.00	243.00				
		実績値		243.00	243.00	243.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年間開設日数/年間開設日数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	家庭児童相談室相談件数	目標値	件							
		実績値		1,358.00	1,368.00	1,585.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標設定することができないため設定していません							
	実績値の算出式									
成果指標 2	子育て・育児に心理的負担感がある保護者の割合（令和5年度以降指標の設定なし）	目標値	%	5.00	5.00					
		実績値		3.00	-	-	-	-	-	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成29年度の値を基準とし設定した / 3歳児健診アンケートより集計（令和5年度～健診からデータが取れないため計上なし）							
	実績値の算出式									
成果指標 3	児童虐待発生件数	目標値	件	82.00	82.00	82.00	82.00	82.00	82.00	
		実績値		73.00	72.00	67.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成28年度深谷市要保護児童対策地域協議会における虐待数 / 深谷市要対協における虐待数							
	実績値の算出式									
成果指標 4	虐待防止講演会の参加者数	目標値	人	83.00	83.00	83.00	83.00	83.00	83.00	
		実績値		88.00	92.00	68.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成26年度から平成29年度の最多数の成果を基準に設定 / 虐待防止講演会参加者数							
	実績値の算出式									
成果指標 5	虐待防止への意識が高まった参加者の割合	目標値	%	90.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値		93.00	97.00	97.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		参加者全員が虐待防止の意識が高まったと思う／参加者全員が虐待防止の意識が高まったと思う							
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	予定通り相談室の開設が出来ている
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	相談件数は増えているが相談対応は出来ている。児童虐待発生件数は目標値より下回っているが引き続き関係機関と連携した対応が必要である。児童虐待防止講演会を開催し目標数以上の参加者が見込めた。児童虐待防止講演会後に児童虐待防止への意識を高める事が出来たかについては目標に達しなかった。今後も講演会等を開催し、関係者の意識を高める必要がある。
			評価者 児童相談係長 金井 雅宜

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	深谷市公式LINEを使用して子育て情報の配信を行っている。配信することで保護者の孤立予防に繋げている。全国要保護児童システムの導入により転入に伴う要支援家庭の把握がしやすくなった
			評価者 児童相談係長 金井 雅宜